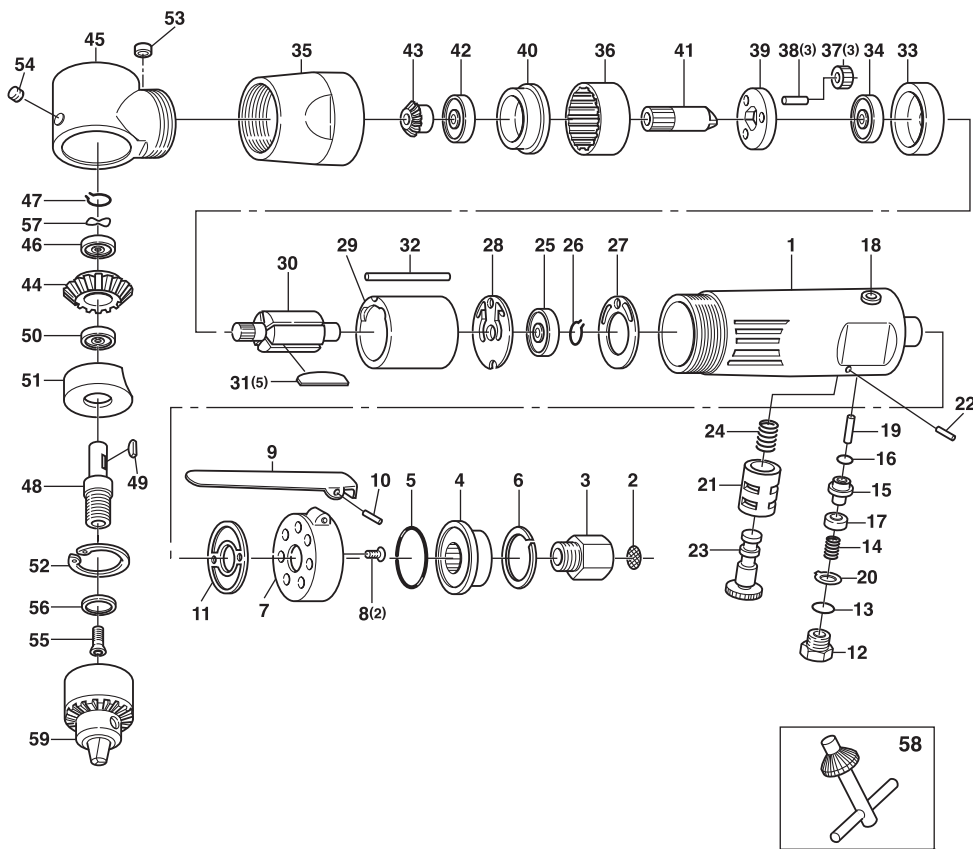


# 部品分解図

## SP-1510AH

10mm用アングルドリル



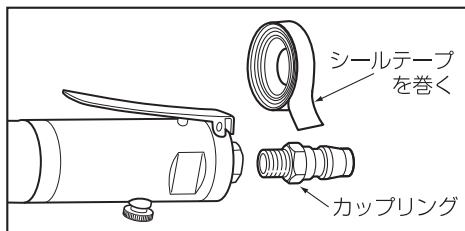
### パーツリスト

番号	パーツNo.	名称	個数
1	1510AH-01	モーターハウジングAssy(18,21)	1
2	1510AH-02	スクリーン	1
3	1510AH-03	インレットブッシング	1
4	1510AH-04	デフレクター	1
5	1510AH-05	オーリング	1
6	1510AH-06	デフレクターストップリング	1
7	1510AH-07	ハウジングキャップ	1
8	1510AH-08	スクリュー	2
9	1510AH-09	スロットルレバー	1
10	1510AH-10	スプリングピン	1
11	1510AH-11	ハウジングガスケット	1
12	1510AH-12	バルブスクリュー	1
13	1510AH-13	オーリング	1
14	1510AH-14	バルブスプリング	1
15	1510AH-15	バルブ	1
16	1510AH-16	オーリング	1
17	1510AH-17	オーリングリテーナー	1
18	1510AH-18	バルブブッシング	1
19	1510AH-19	バルブピン	1
20	1510AH-20	リバーリテーナー	1
21	1510AH-21	リバーススプリング	1
22	1510AH-22	スプリングピン	1
23	1510AH-23	リバースバルブ	1
24	1510AH-24	リバースバルブスプリング	1
25	1510AH-25	ボールベアリング	1
26	1510AH-26	リテーナーリング	1
27	1510AH-27	モータガスケット	1
28	1510AH-28	リヤエンドプレート	1
29	1510AH-29	シリンダー	1
30	1510AH-30	ローター	1
31	1510AH-31	ローターブレード	5
32	1510AH-32	モーターピン	1
33	1510AH-33	フロントエンドプレート	1
34	1510AH-34	ボールベアリング	1
35	1510AH-35	ロックリング	1
36	1510AH-36	インターナルギア	1
37	1510AH-37	プラネットギア	3
38	1510AH-38	プラネットピン	3
39	1510AH-39	ケージ	1
40	1510AH-40	スベーサー	1
41	1510AH-41	ギアスピンドル	1
42	1510AH-42	ボールベアリング	1
43	1510AH-43	ピニオン	1
44	1510AH-44	ギア	1
45	1510AH-45	アングルハウジング	1
46	1510AH-46	ボールベアリング	1
47	1510AH-47	リテーナーリング	1
48	1510AH-48	スピンドル	1
49	1510AH-49	キイ	1
50	1510AH-50	ボールベアリング	1
51	1510AH-51	ベアリングケース	1
52	1510AH-52	リテーナーリング	1
53	1510AH-53	ボールキャップ	1
54	1510AH-54	セットスクリュー	1
55	1510AH-55	スクリュー	1
56	1510AH-56	チャックスベーサー	1
57	1510AH-57	ウエーブワッシャー	1
58	1510AH-58	チャックキ	1
59	1510AH-59	10mm用ドリルチャック	1

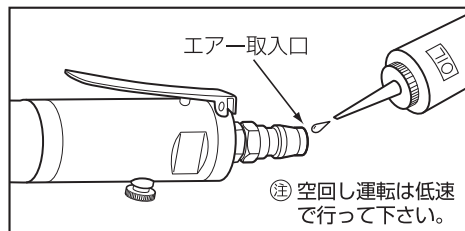
改良のため、仕様を変更する場合があります。

### ご使用方法 SP-1510AH

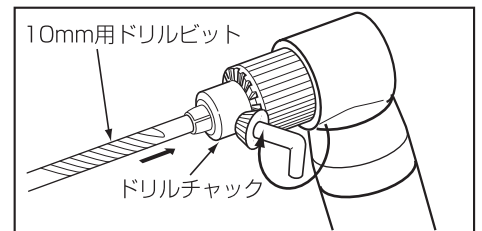
1. カップリングのネジ部にシールテープを巻きつけ、エアもれのないように、エア取入口にしっかりと取り付けて下さい。



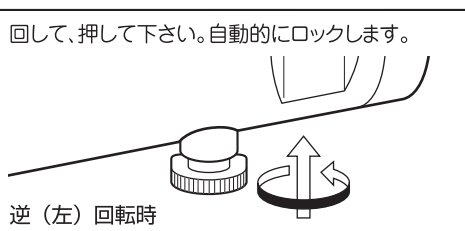
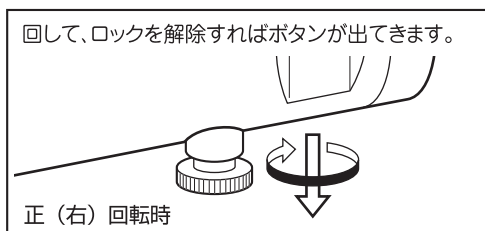
2. 作動前にエア取入口より、スピンドル油がタービンオイルを数滴入れて、軽く空回し運転を行ない、可動部分に油をなじませて下さい。



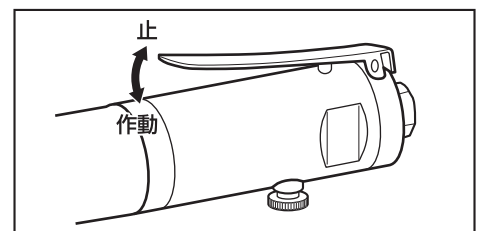
3. 給油が終わったら、いったんエアホースを取り外し、ドリルチャックにドリルビットを奥まで差し込み、しっかりと固定して下さい。



4. このドリルは正逆回転機能付です。ボタンが“出”た状態が正(右)回転です。“押”した状態が逆(左)回転です。作業前に必ず確認して下さい。



5. スロットルレバーで回転の調節を行って下さい。始めは軽く押さえ、“遅い”回転でセンター出しを行って下さい。



### SP-1510AH ⚠ 取扱上のご注意

- ドリルビットはドリルチャックに正しく、しっかりと取り付けて下さい。
- ドリルビットは刃先の尖がった鋭いものを使用して下さい。
- 鉄・材木用など材質に合わせたドリルビットを使用して下さい。

- 振動を伴いますので、なるべく連続作業は避け、休憩しながら作業して下さい。
- 能力以上の作業は絶対にしないで下さい。負荷がかかり、手に反動を及ぼすことがあり危険です。